



あまくさ

市議会だより

第2号

2012(平成24年)

11.15

祈り。日よう早朝に。



崎津天主堂(河浦町)

- 議会報告会を開催（4会場）…………… p 2
- 議案議決結果…………… p 3
- 補正予算…………… p 4
- 請願・陳情・条例改正・
 工事請負契約の締結… p 5
- 委員長報告…………… p 6～7
- 一般質問…………… p 8～13
- 議会基本条例を制定するに至った
 背景等について… p 14
- 政務調査報告…………… p 15
- 議会のQ&A・議長日記・
 海道をゆく・編集後記…… p 16

平成24年第3回定例会会議日程

9月 4日	本会議／開会、市長提出議案の上程及び説明
9月 7日	本会議／市長提出議案の質疑及び委員会付託
9月11日	本会議／一般質問
9月12日	本会議／一般質問
9月13日	本会議／一般質問
9月14日	市民環境委員会・建設経済委員会
9月18日	総務企画委員会・文教厚生委員会
9月21日	本会議／委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

議会報告会を開催!!

平成24年9月1日～10月5日にかけて、市内4カ所で議会報告会を開催し、合計162名の皆さんにご参加いただきました。

この議会報告会は、議会改革の一環として、3月に制定した「議会基本条例（詳細はP14に記載）」に基づき、市の諸問題に対処するため、市民の皆さんと直接市政全般にわたって自由に情報や意見を交換するために開催するものです。

報告会では、議員が直近の議会審議の内容や市政の現状などを直接市民の皆さんに報告し、その後、質疑応答に入りました。市民の皆さんから市の課題や問題点、地域発展のアイデアなど、積極的なご意見をいただきましたので、その一部をご紹介します。

牛深地区

- ・障がい児を夏休みに預かってくれる場所がない。
- ・台風時の避難で毎回5～6人が自主避難しているが避難場所に室内トイレがないので作ってほしい。
- ・地域医療センター入り口の信号で渋滞する。街路樹をはずして車線を増やしてほしい。
- ・議員報酬・議員定数について議員本人はどう思っているのか。



有明地区

- ・小学生のうちから天草の良さを教えてもらいたい。
- ・政策決定について、議員として政策にどうかかわっているのか。
- ・公民館を指定管理に移行したいと市から提案があったが、老朽化した公民館は、修理など後の対応を市は責任を持つのか。



倉岳地区

- ・議員の役割をどう考えているのか。天草市が上天草市、苓北町に比べていちばん低迷している。
- ・議会報告会はありがたい。3年前の市政懇談会の中で区長会などで市政の内容をしっかりと流してほしいと言ったが、何の答えもなかった。
- ・議員本人が市長になったら何をしたいか。議員一人ひとりの話を聞きたい。



栖本地区

- ・平成25年度からコミュニケーションセンターへの移行を考えているが、役所の対応が遅いのでは。
- ・栖本は地理的に熊本へ行くのに不便である。道路の整備をお願いできないか。
- ・上天草市の方が活気があるように思えるが、天草市にもがんばってほしい。
- ・今までは、議会の動きがわかりづらかったが、議会報告会があつてよかった。



総括

その他多くの意見・要望が寄せられました。議会として取り組むことも含め、市に対しても意見・要望を行ってまいります。

平成24年 第3回天草市議会(定例会)議案

議案番号	件名	付託先	議決の結果
報告第9号	専決処分事項の報告について（交通事故に係る和解及び損害賠償の額の決定に関する事）		
報告第10号	専決処分事項の報告について（交通事故に係る和解及び損害賠償の額の決定に関する事）		
報告第11号	専決処分事項の報告について（家賃滞納者との和解に関する事）		
報告第12号	平成23年度決算に係る財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について		
議第80号	天草市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生委員会	原案可決
議第81号	天草市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について	建設経済委員会	〃
議第82号	天草市教育振興基本計画策定審議会条例を廃止する条例の制定について	文教厚生委員会	〃
議第83号	工事請負契約の締結について	総務企画委員会	〃
議第84号	字の区域の変更について	総務企画委員会	〃
議第85号	公有水面埋立てに係る埋立地の用途の変更の許可に関する意見を述べる事について	建設経済委員会	〃
議第86号	市道路線の認定について	建設経済委員会	〃
議第87号	和解及び損害賠償の額の決定について（市道の段差による車両の損傷事故に関する事）		
議第88号	和解及び損害賠償の額の決定について（路肩コンクリートの落下による家屋の一部破損に関する事）		
議第89号	平成24年度天草市一般会計補正予算（第2号）	所管部門ごとに審査	〃
議第90号	平成24年度天草市介護保険特別会計補正予算（第1号）	文教厚生委員会	〃
議第91号	平成24年度天草市病院事業会計補正予算（第1号）	市民環境委員会	〃
議第92号	平成23年度天草市一般会計歳入歳出決算の認定について	一般会計決算特別委員会	継続審査
議第93号から議第110号まで	平成23年度天草市特別・企業会計歳入歳出決算の認定について	特別・企業会計決算特別委員会	継続審査
議第111号	工事請負契約の変更について	総務企画委員会	原案可決
議第112号	平成24年度天草市一般会計補正予算（第3号）	総務企画委員会	〃
議第113号	教育委員会委員の任命について	—	同意
議第114号から議第120号まで	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める事について	—	同意
議員提出第6号	天草市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	—	原案可決
議員提出第7号	350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書の提出について	—	〃

「専決処分」ってなに？

専決処分とは、本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、市長が地方自治法の規定に基づいて、あらかじめ議決で決められた事項に関して議会の議決・決定の前にみずから処理すること。

「委員会付託」ってなに？

上記の議案を、本会議で一度に話し合うには長い時間がかかってしまうため、市から提出された議案をそれぞれ分担して、専門的に詳しく調べるために、各議員が所属する委員会で審議すること。

請願・陳情

請願第3号	消費税率引上げに反対する意見書を求める請願	不採択
請願第4号	請願書(本渡東小学校の通学路整備について)	採択
陳情第4号	学校給食費の公会計化に関する陳情書	不採択
陳情第8号	350万人のウィルス性肝炎患者の救済について国への意見書提出を求める陳情 ※意見書提出済み	採択
陳情第12号	道州制・地域主権改革問題についての陳情	不採択

行政に対するご意見や要望などを、請願・陳情により市議会に提出することができます。請願・陳情の方法は、趣旨、提出年月日、請願・陳情者の住所、氏名を記載して押印した文書を議長あてに提出してください。なお、請願の場合には、趣旨に賛同する紹介議員（1名以上）の署名または記名・押印が必要です。市民の皆さんどなたでも市に対しての要望や意見を市議会に提出することができます。

※「請願」については、議会運営委員会で付託先の委員会を決定後、委員会において審議を行い、最終的には本会議で採決されますが、「陳情」については、付託先の委員会で採決（本会議に諮らない）されます。

条例改正

天草市保育所条例の一部を改正

現在、市が運営管理を行っている「赤崎保育所、有明東保育所、大多尾保育所及び高浜保育所」を廃止するもの。

※この条例は、平成25年4月1日から施行されます。



工事請負契約の締結

天草市体育館改築工事

契約案件 原案可決

天草市体育館は、平成26年1月31日完成予定。
※市の条例に基づき、工事請負契約の予定価格が1億5千万円以上の場合、議会の議決が必要になります。



議案番号	件名	概要	契約業者	契約金額
議第83号	工事請負契約の締結(天草市体育館改築工事)	天草市体育館の改築工事	吉永・昭和特定建設工事共同企業体	11億8,860万円

9月定例会 一般会計補正予算の主な内容

世界遺産登録推進事業

平成25年度のユネスコへの推薦に向けて、引き続き河浦町の崎津・今富地区などの調査及び推薦書作成支援映像の作成委託の費用



538万7千円

農地利用状況調査事業

県からの雇用創出基金事業を活用し、農地法に基づく農地利用状況の調査を実施する。



550万5千円

単県果樹園芸事業補助金

台風などの気象災害に強いビニールハウスの整備に対する補助金



1,872万5千円

定住自立圏地域医療連携推進調査事業

地域医療体制の整備及び保健・医療・福祉の連携を推進するための調査・分析業務委託費

790万円

排水機場ポンプ改修事業

釜排水機場(河浦町)の老朽化したポンプの取り替え工事

2,661万2千円

市有財産施設整備事業

戸宇土町、栖本町、牛深町のプール他建物解体費用

182万円

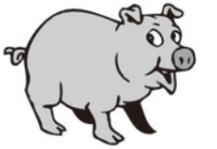
新幹線開業対策事業

天草海道フェスタ事業に対する県補助金の活用による増額

550万円

環境保全型農業総合支援事業補助金

養豚排せつ物の悪臭などの環境問題の対策及び堆肥利用を促進するため、し尿処理浄化槽の整備に対する補助金



1,450万円

全国消防操法大会出場補助金

10月7日に開催された全国大会に小型ポンプの部に出場した牛深方面隊への補助金



500万円

御所浦・三角航路対策事業補助金

御所浦—三角間の定期船運業者への補助金



160万円6千円

有害鳥獣捕獲対策事業

捕獲したイノシシの適正処理及び捕獲者の処理負担を減らすために解体所の建設を行う業者への補助金



398万6千円

コミュニティ助成事業

公民館の備品等の購入費補助金 100万円

汚泥再生処理施設整備事業

新設を予定している汚泥処理施設の土地評価、立木調査、環境アセスメントなどの支援業務委託費

496万7千円

災害復旧費

6・7月の梅雨前線豪雨により被災した農業、林業、公共土木施設の災害復旧費

農業施設災害復旧費 1億3,578万5千円
林業施設災害復旧費 600万円
公共土木施設災害復旧費 2億9,021万7千円

総額4億3,200万2千円

今回の補正予算額 合計 5億6,093万4千円
補正後の予算総額 合計 518億6,417万7千円

通告番号	質問者	質問事項
1	濱洲大心	①災害対策と防災システム ②公民館組織再編について ③生活保護費のあり方
2	赤木武男	①環境施策について ②聴覚障がい児に対する支援策の拡充について ③市職員の通勤手当支給について
3	福嶋啓子	①教育のあり方とは ②イベントの目的
4	浜崎義昭	①認知症患者の受け入れ施設について ②有害生物の活用について ③六次産業化法について ④有料ゴミ袋の持ち込みについて
5	鎗光秀孝	①高齢者支援について ②スクールバス等運行(航)管理について
6	田中茂	①自治基本条例の制定について ②市有財産の利活用、整理・統廃合基本方針及び第1期施設の整理・統廃合基本計画について
7	脇島義純	①離島振興法について ②病院事業について
8	浜崎昭臣	①「地域戦略課」又は「地域戦略室」の新設について ②観光振興について
9	勝木幸生	①道路の整備状況について ②イルカウォッチングの現状について
10	鶴戸継啓	①防災教育について ②棚底城跡について
11	中村五木	①天草市地域公共交通連携計画に基づく新たな公共交通体系の確立について ②教育委員会委員の任命の件について

ごみ袋4種類化と料金改定を検討



赤木 武男 議員

赤木 昨年9月議会でも、市のごみ袋価格は、他市と比べ高い事を指摘し、今議会でも見直すべきと提案。また、大きさも2種類であり、住民ニーズに的確にこえるべきではないか。実施時期について伺う。

市長 本市指定のごみ袋料金(一般廃棄物処理手数料)の改正は、ごみ袋の種類の追加をふまえ検討し、実施時期は、資源物の分別種類の追加と合わせ、来年度の実施を予定している。

赤木 聴覚障がい者の支援策で、これまで提案した、人工内耳装用者のスピーチプロセッサ交換時に110万円の助成制度や学校におけるFM補聴器の配備、障がい者自立支援法に該当しない子どもへの補聴器購入助成制度などの創設には感謝したい。しかし、障がい者手帳を持たない子どもの補聴器購入に当たっては、3分の1は自己負担であり、障がい者自立支援法と同様に更なる支援策が必要ではないか。

健康福祉部長 県の6月補正で補

●ごみ袋価格(大) ※10枚単位の価格

天草市	500円
熊本市	350円
荒尾市	450円
山鹿市	250円
玉名市	250円
菊池市	200円
阿蘇市	200円
合志市	200円
宇土市	350円
宇城市	200円
上天草市	200円
人吉市	200円
八代市	500円
苓北町	120円

聴器購入費助成を県と市町村が3分の1ずつ負担することが承認されたが、提案の障がい者自立支援法と同じく1割負担とする支援策は、手帳の有無に関係なく、日常生活や学習の中において、支援(イヤモールドと修理費含む)が必要であると考え、前向きに検討する。

赤木 県下12市の通勤手当は、通勤距離の基準と通勤手当の支給額とも全て同じだが、天草市は高い支給額になっている、見直すべきではないか。また、環境にやさしい公用車の普及についての考えは。

市長 指摘の低燃費車等の普及などを含め、本市を取り巻く様々な状況に大きな変化があった場合には、必要に応じた適正な見直しが必要であり、今後検討したい。

災害時の対策と防災システムについて



濱洲大心 議員

濱洲 今回の大雨災害に遭った阿蘇市に天草市からは、援助はされたのか。市長 天草消防本部より7月12日に10名の職員が行方不明者の捜索活動に翌日まで従事した。7月26日には土のう袋600袋を持参した。今後も出来る限りの支援を行って行きたい。



阿蘇市の災害ボランティアに参加してまいりました。

濱洲 各地区振興会にあった防災計画を作成することはできないのか。総務部長 現在、支所ごとに地域にあった防災計画を定めている。既に製作をしている振興会もあるので、他地区振興会とも協力して作成をしたいと考えている。

濱洲 大雨で河川の氾濫が予想される場所には防災カメラを設置できないか。総務部長 有効手段と考えているので、関係部署、支所と連携し設置に向けて努力して行きたいと思う。

濱洲 消防団員にライフジャケットを配布してもらえないか。総務部長 合併前に購入をしている消防団もある。各方面隊からの要望を聞きながら対応したいと考えている。

濱洲 生活保護世帯への支援について。健康福祉部長 就労可能な方々へは、どのような支援をしているか。

濱洲 就労可能な方々へは、どのような支援をしているか。健康福祉部長 定期的に訪問を行い就職の相談にのっている。就労意欲を高めるため、ボランティア体験、就労体験活動を呼びかけている。

濱洲 貧困の連鎖防止について保護世帯の子供に対する教育支援はどのように対処しているか。健康福祉部長 県からも定期的に出向してもらい、学習会などを開いている。

イベントの目的について 天草国際トリアスロン大会ほか



福嶋啓子 議員

福嶋 今までどれくらい国際交流ができたか。教育部長 高校生による英語通訳ボランティア、小・中・高生がボランティアとして参加することで、身近に外国人選手とふれあう機会が増えたこと。

福嶋 フィニッシュした後の時間を活かして、外国人選手と子どもたちがふれあう時間をつくれないか。教育部長 空き時間、選手の都合もあるが、日本トリアスロン連合と協議をして、進めていきたい。

福嶋 走るコースをにぎやかな街中に変更できないか。教育部長 日本トリアスロン連合と天草警察署等の関係団体と協議の中で、意見を聞いていく。



トリアスロンの表彰風景

濱洲 情報の提供があれば、自主避難も早めに行けるので、ぜひ取り組んで頂きたい。

濱洲 指定管理制度としてどのような支援を行うのか、備品などの整備はどうなるのか。企画部長 地域雇用の職員報酬、施設の管理委託料などの補助、各種行事などの協力支援などを考えている。備品については、市で整備を行う。看板などの取替えも市で整備するよう考えている。

濱洲 新たな取り組みに行政側からも十分な支援をお願いしたい。

濱洲 生活保護世帯への支援について。健康福祉部長 定期的な訪問を行い就職の相談にのっている。就労意欲を高めるため、ボランティア体験、就労体験活動を呼びかけている。

濱洲 貧困の連鎖防止について保護世帯の子供に対する教育支援はどのように対処しているか。健康福祉部長 県からも定期的に出向してもらい、学習会などを開いている。

濱洲 生活保護世帯への支援について。健康福祉部長 定期的な訪問を行い就職の相談にのっている。就労意欲を高めるため、ボランティア体験、就労体験活動を呼びかけている。

市民の苦情・要望等
地域産業(農漁業)の発展について



浜崎義昭
議員

【認知症患者の受け入れ施設について】
浜崎 厚労省は、入院認知症患者の退院までの期間を6ヶ月から20年度には2ヶ月以内とする」と明記。日本医師会・精神科病院協会・マスコミも批判・反論。この天草市として対応できるか。市民病院は、受け入れる体制が出来ているのか。
病院事業部長 市民病院としては、認知症患者の受け入れ体制は出来ていない。

【有害生物の活用について】
浜崎 イノシシ他自治体では、地域資源としてとらえ、肥料としての利用の可能性を探っている。オニヒトデ成分が、動物を寄せ付けない事がわかり獣類の被害に効果があると言われている。また、オニヒトデが、魚の成長を促進するという事もわかってきている。最近では、オニヒトデの成分がアルツハイマーに効果のあることが期待されている。研究機関との協同

【有料ゴミ袋の持ち込みについて】
浜崎 有料ゴミ袋を自分でセンターに持ち込んだ場合、追加で250円の料金を支払わなければならぬ。ゴミステーションに出した同じゴミ袋なのになぜか。
市民環境部長 運搬手数料(有料ゴミ袋)と利用手数料(クリーンセンター)である。

で、取り組んでみてはどうか。
経済部長 イノシシ23年度で4,544頭捕獲、自家消費・埋没処理、一部は、生肉やハム、ウインナー等に加工販売。オニヒトデ捕獲後、すべて焼却処分。
【6次産業化法について】
浜崎 現在、地元の農漁業者が開発した商品の取り扱い・生産向上を後押しするフォロワーアップ体制が、出来ていない。天草市としての関わり方。水揚げ時の不必要な魚類、廃棄物、加工業者廃棄物・排水等の有効活用を行うべき。
経済部長 加工品・廃棄物等の事業は、関係団体から要望があれば支援していく。

【有料ゴミ袋の持ち込みについて】
浜崎 有料ゴミ袋を自分でセンターに持ち込んだ場合、追加で250円の料金を支払わなければならぬ。ゴミステーションに出した同じゴミ袋なのになぜか。
市民環境部長 運搬手数料(有料ゴミ袋)と利用手数料(クリーンセンター)である。

自治基本条例の制定の時期は？
市民参画のあり方は？



田中 茂
議員

【自治基本条例(以下基本条例)の制定について、具体的な動きが見られない、どうなっているのか？また基本条例は、自治体における最高規範であり、より多くの市民の理解を得て制定されることが必要だと思つ、進捗状況を。】
市長・企画部長 来年九月の議会提出を目ざしている。制定にあたっては、市民の目線で市民の参画をいただきながら作り上げていく過程が重要であり、市民アンケートの実施、市民との討論会開催、パブリックコメントの実施など市民の声を十分反映しながら進める。

【市有財産の利活用、整理・統廃合基本方針及び第1期施設の整理・統廃合について】
田中 ファシリテイマネジメント(施設・設備等財産を経営資産と捉え、経営的視点に基づき、総合的・長期的観点からコストと便益の最適化を図りながら、財産を戦略的かつ適正に管理・運用していく考え)を活用した本市の取り組みについて、先進地、浜松市を会派で研修した。その結果も含め、合併によって、多くの公有財産を保有する自治体にとって有効な取り組みであると理解はする。

まず、公正な個別の資産評価(ソフトを含めた)の実施とデータの一元化、システム構築・財産カルテの作成、それを基にした職員全体への教育、情報の共有化を図っていたきたい。そして、実施にあたっては、市民サービスの低下につながらないよう、地域への懇切丁寧な説明を含め、市民への適宜の公表が必要であり、目先だけの一過性のものとならないようお願いする。

高齢者支援について



鎌光 孝
議員

【認知症高齢者が行方不明になった場合、市の対応は。】
健康福祉部長 認知症行方不明者の情報を伝達する手段として、防犯行政無線の利用、地域福祉ネットワークの協定事業者や社協にもメール配信登録を要請して、見守り体制の強化を図っている。

【認知症高齢者が自分の財産管理等が出来ない場合もあるが、成年後見制度とは。】
健康福祉部長 認知症等により、金銭管理や施設入所等の契約行為を自らの意思で出来ない方に対して、裁判所の審判により、本人に代わって手続き等の支援をする制度である。

【認知症行方不明者の捜索にGPSを活用してはどうか。また、事前登録制度を設けては。】
市長 認知症対策は喫緊の課題であり、重要な対策である。今後は、関係機関との連携強化を図り、見守り活動を推進していく。御提案の件は、検討を進めていく。

【スクールバス等運行(航)管理について】
鎌光 スクールバス等の運行状況は。
教育部長 市全体では、バス36台、船1隻で運行している。利用者数は、児童・生徒合計1,048人である。運行経費は、平成23年度、1億1,263万2千円となっている。

【補助金がなくなった場合、利用者の負担を求めるとは。】
鎌光 補助金がなくなった場合、利用者の負担を求めるとは。
教育部長 利用者からの負担は求めない。

【入札や安全運行への考えは。】
鎌光 入札にあたっては、適正な価格で入札していただき、安全運行を指導、徹底している。
鎌光 安全確保のためには、物品購入等のような考えで入札価格が決まるのはいかがと思う。緊急時の対応は、地域貢献度を検討すべき。スクールバスの目的外使用については、交通弱者救済のためにも、利用できないか要望する。

離島振興法について



鎌光 孝
議員

【離島活性化交付金創設はどのような内容か。】
企画部長 都道府県または関係市町村に対して、国が交付金または補助金を交付する内容。

【人やモノの輸送にかかる燃料代の支援はどのような内容か。】
企画部長 他地域との、海上交通等に要する費用の低廉化に向けた施策を充実する内容。

【本土などに行き来する妊婦の通院、出産に対する支援は。】
企画部長 島外の産科医療機関等に通院・入院する場合に支援を行う。

【高校生の修学支援は。】
企画部長 島外の高校へ進学する場合、通学に要する交通費や移住費の一部を補助するもので、補助金額は県または市が補助した修学支援費の2分の1を国が負担する。

【離島活性化交付金等事業計画はどのようなスケジュールか。】

【平成25年4月に国の所管大臣へ、事業計画を提出することになっているので、市としては、事業計画に盛り込む事業について、地元のご意見等を含め、支所と連携しながら検討していく。】
企画部長 事業申請の窓口はどこになるか。支所に窓口を設置してもらえるのか。
企画部長 事業申請の窓口については、支所に対応出来るようにしたいと考えている。



地域戦略室の新設について



浜崎昭臣 議員

【浜崎】役所の縦割りの弊害をなくす為、天草市のシンクタンクとなるべく市長直属のスタッフ部門「地域戦略室」の新設が出来ないか。私見ですが、農林・水産・観光等活性化をテーマにした「あなたの考える十年後、二十年後の天草は」の論文を職員より募集し、市長直々に論文を審査し面接をしてスタッフをそろえてはどうか。

【市長】現在、市の組織見直しに取り組んでいる。管理部門の再編、組織全体の総合調整、推進・評価などを総括する部の設置や、各事業部筆頭の政策立案、部内調整等の機能強化などを検討していく。論文の募集も有効なアイデアの一つと考える。

【観光振興①サンセットラインについて】
【浜崎】サンセットラインは、3支所で取り組んでいる。「宝の海・夕陽口本一づくり事業」の場で協議する



魚貫町の黒石海岸の夕陽

という事でしたが、その後の進捗状況をお尋ねする。サンセットライン名を「天草・東シナ海サンセットライン」と定める事はできないか。夕陽の愛称、キャッチフレーズ等も早急に決定すべきだと思いがいかか。

【市長】行政や地元代表等で、検討委員会を開催し本年度中に決定する。

【観光振興②海の駅について】
【浜崎】「海の駅」の設置要件は、①来訪者が利用できる船舶係留施設②海の駅に関する情報提供等の為のガイドの設置 ③公衆トイレの3点のみで、牛深港の場合、元水保航路の発着場の棧橋を、港湾管理者である県が船舶係留施設として認めたら即登録になるはずである。平成19年6月議会以降、再三にわたり質問をしているが、実現していない。今回こそ12月の「牛深あかね市」までに認定可能かお尋ねする。
【市長】平成23年度末には棧橋の改修工事も概ね終了したので、港湾の管理者である熊本県や認定機関との協議を進めながら、今年度中の登録を目ざしていく。

防災教育・棚底城跡について

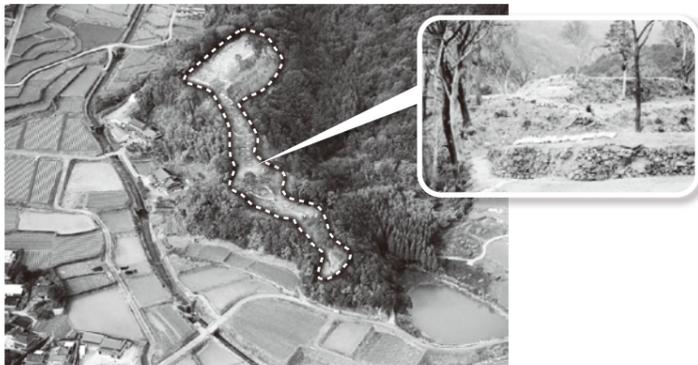


鶴戸 議員

【鶴戸】岩手県釜石市の防災教育奇跡を呼ぶ生存率99・8% 小学生。命を救ったのはここ数年の防災教育であったと言われており、本市の教育委員会としては、学校現場の防災教育に対して、どのように取り組んでいるのか。
【教育長】本市においては、各学校ごとに校区の実態に合わせて防災に備えた学習や行動ができるよう防災計画を作成し、被災地での事例等を参考にしながら避難訓練も含め見直しを行い修正を加えるなどして防災教育を進めている。

た。平成24年度事業計画は史跡用地の公有化に向けた地権者等の現況調査及び事前説明等の準備作業を計画している。史跡用地の公有化は平成25年度以降実施して行きたい。重要な歴史的意義を持つ城郭である。城郭全体像の解明に向け、保存管理の基本方針として今後も継続して調査を実施する。

【鶴戸】棚底城跡は旧倉岳町が平成14年度から調査を始め、平成21年7月23日に広いエリアを持つ史跡では天草郡市でも初の国指定史跡となり、中世城跡としては熊本県で4番目の国指定史跡と聞いている。保存管理計画等の計画はなされているが、予算計上はない。計画に基づき整備を進めることであるが、現在の進捗状況は。
【教育長】史跡棚底城跡保存管理計画策定のための委員会を設置し、今年3月に保存管理計画を策定し



棚底城跡地

イルカウォッチング観光の現状について



勝木幸生 議員

【勝木】平成初期、町興しとして発足したイルカウォッチング。以来、年々増加する観光客(平成23年度、天草圏域116万人。うち、天草市119万7千人)。地元漁業操業者の安全対策とイルカウォッチング観光の施策の方針は。
【経済部長】通詞島沖合イルカウォッチング安全協会において、安全通航や事故防止に努めている。施策については、さまざまな情報発信、観光協会など関係機関と連携を図り観光客誘致に取り組むたい。

【勝木】発着所周辺施設の整備について、旧五和町時の計画を引き継ぎ、策定された核となるデジタルモール基本構想の案を実行する計画はないのか。
【経済部長】発着所周辺整備については、いきいき地域創造事業で策定された整備構想に基づき、駐車場の整備やイルカのモニタリングの設置など順次取り組んでいる。デジタルモール案については、漁協をはじめ関係者の合意形成が図られ、実現への機運が醸成されれば積極的に支援していきたい。

【勝木】今後のイルカウォッチング観光に対する市の位置付けは。
【市長】天草を代表する宝物の一つである。観光は経済波及効果や雇用創出効果の高い総合産業であり、天草の重要な観光資源として、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図っていきたい。

【道路の整備状況について】
【勝木】国県道(五和地区)の整備状況は。
【建設部長】御領小串交差点周辺については25年度に用地買収及び事業促進が図られる。二江地区、鬼池港人口周辺においては積極的に要望活動を行っていきたい。

【勝木】市道の整備状況について、防災の面や高齢化の進む中で、現状の維持費では市民の日常生活に支障をきたすのでは。予算枠を拡大して整備を進める考えは。
【建設部長】多くの路線、施設が施工後の年数が経過しており、維持管理が増大する事は必至であります。各路線、施設ごとに評価を行い、緊急性や効率性並びに地域等を考慮しながら予算化をしていきたい。

新たな公共交通体系の確立について



中村 議員

【中村】市の公共交通連携計画(21〜23年度)が策定されていたが、その進捗状況は。
【企画部長】路線バスの再編等は進んだが、協議までに留まり、対策を実行できていないものもある。

【中村】そのような中、市では24年度以降の計画がなく、交通不便地域の対象人口等も十分に把握されていないなかった。移動手段を持たない地域が増加すれば、市民の行動を制限し、地域の経済活動も疲弊する。高齢化や、中心地域と周辺地域の格差拡大が加速する中にある。交通不便地域等を解消し、交通弱者を救う対策を講じることは急務である。

また、このような対策は、官民一体となって進めることが重要。地域の実情を的確に把握して課題を解決していくには、支所単位で協議会を設立し、現状分析と中期的な需要予測を行い、地域に適した対策を練る必要があるのではないかと。今後の計画をいち早く策定し、できることから即座に実行すべきである。

【中村】教育長も教育委員の一人である。人選にあたっては当然相談も必要だが、各委員が公平な立場で議論を行っていくためには、就任の交渉等は市長部局が行うべきと考える。また今回、7月に就任した委員が2名辞任している。就任に関する市の事前説明が不十分だったのでは。その場合、辞任した委員自身にも迷惑がかかる。このような点も踏まえ、今後、任命に関する仕組みをきちんと構築していただきたい。

【教育委員の任命の件について】
【中村】教育委員選任の際、現在どのような方法をとっているか。
【市長】任命は任命権者である私が行うが、各委員への事前交渉や説明は、教育長が行っている。

【中村】教育長も教育委員の一人である。人選にあたっては当然相談も必要だが、各委員が公平な立場で議論を行っていくためには、就任の交渉等は市長部局が行うべきと考える。また今回、7月に就任した委員が2名辞任している。就任に関する市の事前説明が不十分だったのでは。その場合、辞任した委員自身にも迷惑がかかる。このような点も踏まえ、今後、任命に関する仕組みをきちんと構築していただきたい。

政務調査報告

政友会

〔浜崎昭臣・江浦政巳・平山泰司・黒田忠広・奈良崎利幸〕

5月9日～11日 沖縄県石垣市にて視察
 〈内容〉

●企画部すぐやる課の取り組みについて

天草市誕生後、各地区の住民より合併前に比べて市の対応が遅いという意見が多くあり、より良く市民のニーズに対応するために石垣市の「すぐやる課（平成22年6月設置）」を視察。

すぐやる課の受付件数（平成22年度）は、
 第1位 道路に関する事 224件
 第2位 防犯灯の新設、修理 133件
 第3位 樹木の枝打ち、除草 87件
 すぐやる課では簡単にできる事は即時対応し予算規模が大きい物件は、関係部所と協議のうえ対応しているとの事でした。

●石垣公設市場視察

第2種大規模小売店舗として石垣市が設置。昭和62年竣工（鉄筋コンクリート造り3階建、敷地面積1255㎡）。平成18年度には指定管理者制度に基づいた管理運営となり現在に至る。平成19年度には、まちづくり交付金事業で改修工事を実施されていた。

これから天草市においても、民間に業務委託が多くなることから、先進事例として視察研修を行った。



天政会

〔本田武志・吉川徳澄・中村五木・脇島義純・池田裕之・中村三千人・勝木幸生・宮下幸一郎〕

5月15日～17日 長野県長野市、同県軽井沢町にて視察

〈内容〉

●長野市地域公共交通総合連携計画

“市民の暮らしを支える”バス交通プラン

長野市は平成17年3月に長野市バス路線網再編基本計画の策定。

これは、市民の移動手段に関する現状と課題及び地域の実情を踏まえ、市民生活に密着した生活移動手段であるバス交通を「都市のインフラ」と位置付け、バス交通の確保充実を図るものです。

- ・新規路線新設の検討
- ・コミュニティバス等の運行
- ・中山間地域輸送システムの構築

- ・移動需要に合わせた運行の確保
- ・ITを活用した情報提供システム
- ・効率的な運航路線、内容に見直しなど、市民の足の確保を計画的かつ効率的に具体的再編策として市民サービスを最大限発揮するもの。

●軽井沢町社会福祉協議会

地域通貨を利用した支え合い活動

地域通貨を使用し、463人の登録者の「災害時の支え合い」と一人暮らしの高齢者等の見守りと買い物支援を柱とする「安心生活創造事業」の連携で人と人をつなぐ縁結び、自然な支え合いの関係性を築いていくことを活動の目指すところとしている。

新風天草

〔古賀源一郎・濱洲大心・鶴戸継啓〕

5月22日～23日 高知県ゆずはら町にて視察

〈内容〉

●自然エネルギーの取り組みについて

ゆずはら町は四国山脈の山頂付近に位置し人口約3800人の町、前町長より引継ぎ、森、水、風、光などの自然エネルギーの活用に取り組み、2050年には、エネルギー自給率100%を目指している町です。

現在取り組んでおられる主なものは、太陽光発電（庁舎、公共施設、個人住宅等に設置）小型水力発電、落差6mの川に設置、昼は学校に夜は街灯に使用されている。



若山敬介

8月20日～21日 神奈川県横浜市にて研修

〈内容〉

●自治政策講座に参加して

①自治体財政の適正化とは②自治体福祉政策と財務③住民が地域医療を作る④東日本大震災と自治体の対応⑤自治とは何かの5講義を受講しました。特に、地域医療に関する講義と東日本大震災に関する講義は、一般質問でも取り上げた内容でしたので非常に勉強になりました。

我が天草市も公立病院を運営する中で、全国的な問題である医師不足、医療従事者不足に悩まされています。しかし、講義では「バッファー（緩衝器）の医療」つまり新型インフルエンザや社会的弱者への対応を担うことや職員定数を緩やかにして収益を向上させることが重要だとのことでした。

震災における対応としては、近隣自治体との連携が重要であり、防災計画はコンパクト版の作成が必要。また、緊急時避難行動計画を優先した方が良いとのことでしたので今後も提言したいと思いました。

「議会基本条例を制定するに至った背景等について」

議会改革調査特別委員長 田中 茂

●はじめに

平成18年3月27日、2市8町の合併により、「天草市」が誕生し、同年4月23日、天草市議会議員選挙が行われ、議員定数30人からなる天草市議会が発足しました。4年後の平成22年3月28日には、第2回目となる市議会議員選挙が行われましたが、そこでは、合併後の4年間に於ける地域状況の変化や議会、議員に対するきびしい声が多く寄せられ、議員間の協議においても、「このままでは議会と議員の存在意義が薄れていくのではないか」などの意見・課題等が出されたところでした。

このような状況から、改選直後の平成22年4月の臨時会において、議会改革の必要性を共通認識し、今後の市議会のあり方など議会改革に関する件についての調査研究を目的に「議会改革調査特別委員会」が設置されたところでした。

そこで、委員会としましては、全国の市議会の取り組み事例や県下の市議会の状況等を踏まえ、まずは、「議員定数」及び「議

員報酬」について、そして、総合的なものとして「議会基本条例」の制定に向けて、調査・研究に取り組むことにいたしました。

●条例制定に向けての取り組みと主な内容

「議会基本条例」については、平成23年3月の定例会において、制定に向けた取り組みを一層加速化させていくことを報告し、その後、先進地視察を行うなど検討・論議を重ねてきたところでした。そして、本年1月には、市内3会場（本渡・牛深・御所浦）で「意見交換会」を開催し、2月には、ホームページ上でパブリックコメントを実施し、併行して、執行部との調整等を行ない、3月の定例会において「天草市議会基本条例」を提案し、可決制定をされました。条例は、「議会及び議員の活動原則」や「市民と議会の関係」、「行政と議会の関係」等について規定していますが、中でも特筆すべきものとしては、「広報広聴の充実（議会だよりの発行）」と「議会報告会の開催」があります。これまでは、議会側が正

確な情報を皆さんにきちんと伝え、それに基づき正確な意思表示をしてもらうというような機会はなかなかありませんでしたので、今回、このような「広報広聴活動」を約束事とするためにも条例化に取り組むことになりました。

●おわりに

当然、条例を制定しただけでは何の効果もありません。これは、あくまでも議会改革を実施するための一つの手段です。で、行動が伴わなければ何の意味もなく、これからが本当の正念場であると思っております。議会改革を推進するに当たっては、現状をよく理解せず、議会が皆さんにどう思われているのかをわからないまま行っても、それはやみくももの改革になってしまいます。

まずは、取り組み始めた議会だよりの発行（広報活動）及び議会報告会の開催（広聴活動）等を通じて、議会に対するご意見、ご要望等をお聴かせいただき、市政及び議会活動に反映させてまいりたいと思っております。

実績と今後の予定	期日	地区	場所	時間
	9月1日	牛深	支所2階	午後7時30分～
	9月1日	有明	町民センター	午後7時30分～
	9月29日	倉岳	多目的研修集会施設	午後7時30分～
	10月5日	栖本	福祉会館	午後7時30分～
	10月26日	本渡	市民センター大会議室	午後7時30分～
	11月5日	新和	町民センター	午後7時30分～
	11月5日	天草	高浜公民館	午後7時30分～
	11月12日	五和	おおくす	午後7時00分～
	11月19日	河浦	支所2階	午後7時30分～
	11月20日	御所浦	支所2階	午後7時30分～

今後とも議会改革に対しましては、皆さんのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※「天草市議会基本条例」は、市のホームページに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

ふだんは聞きなれない議会独特の言葉……。ここでは、少しでも議会を身近に感じていただけるように、ちょっとした疑問に対してわかりやすくお答えしていきます。

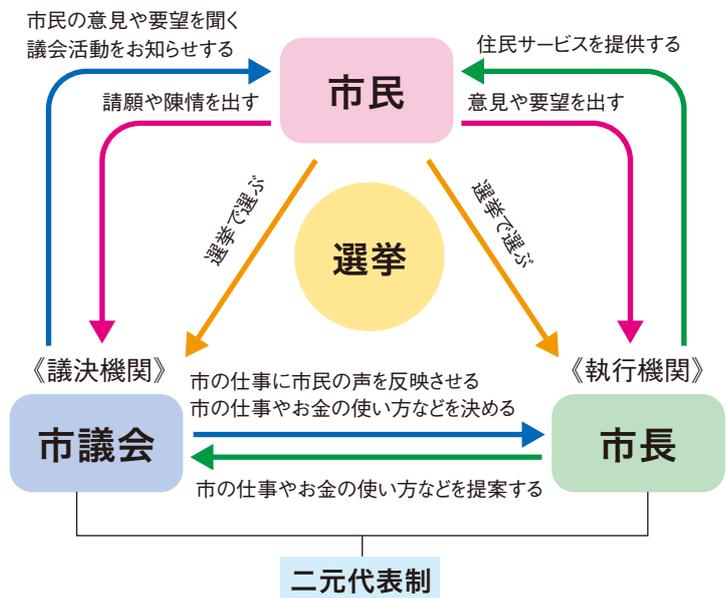
Q そもそも市議会ってなに？

A 天草市を、よりよい市にするためには、私たち市民一人ひとりが、自分たちの責任でいろんな問題を解決していかなくてはなりません。本来なら、市民全員で話し合いをすべきですが、約9万人もいる市民が一度に集まることはできません。そこで、市民の代表の人を選んで、代わりに話し合いをしてもらいます。それが市議会です。

市長が市の仕事するためには、お金が必要になります。そこで市長は、市民が納めた税金を、何の事業にいくら使うか計画します。この計画を「予算」といいます。また、多くの市民が生活していくには、いろんなルールが必要です。このルールを「条例」といいます。「予算」、「条例」などの案を市長が考え、その案を議会に相談して決定します。

市議会を構成する議員と市長はお互いに市民から直接選挙で選ばれた代表者であることから、まったく対等の関係にあり、お互いが適度な緊張とバランスを保ちつつ、話し合いを重ねながら市政運営を進めています。

市民・市議会・市長の関係図



※市議会は、市の仕事の計画やお金の使い方など、市としての意思を決めることから、「議決機関」といいます。また、市議会で決められた方針に沿って、具体的に実行する市役所を「執行機関」といいます。



議長日記

10月7日朝、東京臨海広域防災公園は雨。熊本県代表牛深方面隊堂々の入場。園田代議士、安田市長の激励を受け競技開始。入賞は逃しましたがチーム結成後6年の想いと団結に感動しました。選手、方面隊の皆さまお疲れ様でした。



日本山妙法寺 仏舍利塔

(新和町 竜登山山頂)

今回は秋晴れの下に新和町の竜登山山頂に丸い白い建物を発見し、訪ねてまいりました。

32年前に建立され、完成式典にはスリランカ大使も参列。現在もスリランカやインドの方々もお参りに訪れられるそうです。大自然の中にぼつりとたたずむ仏舍利塔、空気も綺麗で竜登山から眺める海もまた格別。お参りされた方には、僧侶 丸本茂樹さんのおもてなしがあるとか、ないとか。ぜひ皆さんも参拝を！

海道とゆく



天草市議会広報広聴委員会

委員長

濱洲大心

副委員長

福嶋啓子

委員

楠本千秋

委員

船辺 修

委員

宮下幸一郎

委員

浜崎義昭

委員

黒田忠広

編集後記

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、実りの秋、秋は四季の中で豊かさを感じ感謝を覚える季節ではないでしょうか。われわれ議員、議会がどのようなことをしているか、一つでも多くのことが伝えられるような紙面をつくってまいりたいと思っています。また、皆さまの声にこたえたような内容もあれば興味をもっていただけるのではないかと考えています。皆さんからのご意見・ご要望等がございましたら、遠慮なく表紙の電話番号で議会事務局までご連絡ください。前号よりも写真、イラストなどを多くしてわかりやすいように編集してみましたが、いかがでしたでしょうか。

副委員長 福嶋啓子